

令和5年度進行管理・評価シート
桐生市歴史的風致維持向上計画（平成30年1月23日認定）
（最終変更 令和6年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画に関する施策	2
2 景観計画による景観誘導等	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 伝統的建造物公開活用事業	4
2 歴史的風致形成建造物保存整備事業	5
3 伝統的建造物保存修理事業	6
4 伝統的建築物保存技術継承支援事業	7
5 本町通り整備事業	8
6 桐生新町伝建地区及び周辺整備事業	9
7 景観阻害物調査改善事業	10
8 伝統産業周知啓発事業	11
9 伝統産業保護育成事業	12
10 地場産業振興事業	13
11 織物体験事業	14
12 祇園屋台・鉾伝承活用事業	15
13 無形民俗文化財伝承支援事業	16
14 歴史まちづくり推進啓発事業	17
15 「桐生を好きな子供」を育てる事業	18
16 歴史的建造物調査活用事業	19
17 歴史文化基本構想等策定事業	20
18 歴史文化資料公開事業	21
19 文化財案内標識整備事業	22
20 観光案内等情報提供事業	23
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存又は活用の現況について	24
2 文化財の修理に関する取組み	25
3 文化財の防災に関する取組み	26
4 文化財の普及・啓発に関する取組み	27
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	28
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 市民団体等との連携について	29

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	30
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和5年度
計画の推進体制		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

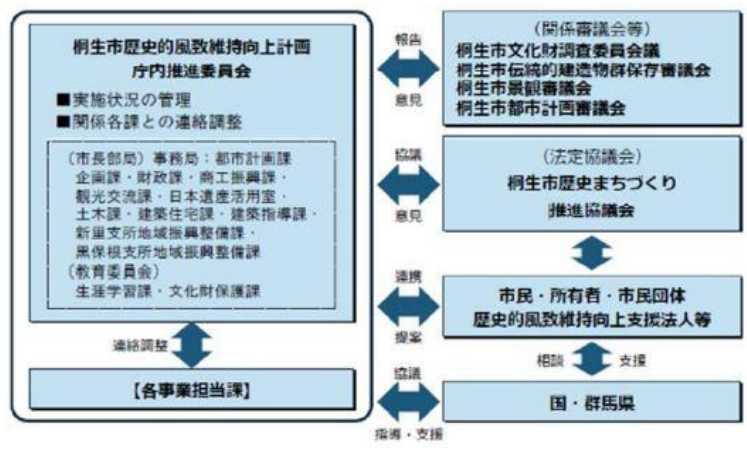
計画に記載している内容
 歴史的風致維持及び向上を推進するために、関係各課課長で組織する「歴史的風致維持向上計画庁内推進協議会」を引き続き設置し、担当部局との連絡調整や実施状況の管理と評価を行う。また、国・県の関係機関との協議を行うと共に、「桐生市歴史まちづくり推進協議会」において、事業の進捗状況や計画変更等にかかる協議を行う。必要に応じて都市計画審議会や文化財調査委員会、市民団体などと連携を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

年度内事業進捗状況の報告、歴史的風致形成建造物指定に係る意見聴取、計画の軽微な変更、計画変更、進行管理評価シートに関する意見聴取を踏まえ、「歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会」を令和5年7月26日、令和6年1月29日に開催し、法定協議会である「桐生市歴史まちづくり推進協議会」を令和5年8月27日、令和6年2月5日に開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	法定協議会において、委員の任期満了に伴い新たに委員となった方への各事業や制度等に関する説明方法が課題となっている。会議開催前に新たに委員となった方へ会議資料等を持参し説明を行うことを継続していく。

状況を示す写真や資料等



桐生市歴史まちづくり推進協議会開催の様子 (令和5年8月27日)

- 第18回歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会 (令和5年7月26日開催)
 - ・桐生市歴史的風致維持向上計画における事業について
- 第19回桐生市歴史まちづくり推進協議会開催 (令和5年8月27日開催)
 - ・桐生市歴史的風致維持向上計画における事業について
 - ・歴史的風致形成建造物の指定について
- 第19回歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会 (令和6年1月29日電子会議室にて開催)
 - ・進行管理・評価シートについて
 - ・軽微な変更について
 - ・計画変更について
- 第20回桐生市歴史まちづくり推進協議会開催 (令和6年2月5日開催)
 - ・進行管理・評価シートについて
 - ・軽微な変更について
 - ・計画変更について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和5年度
	現在の状況	
都市計画に関する施策	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

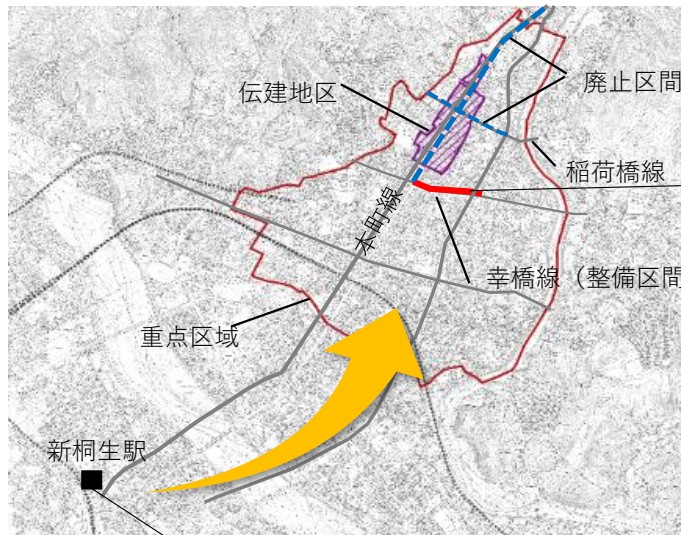
- 重点地区は、桐生都市計画区域の市街化区域内で、桐生地区の中心市街地に位置している。重点区域の中心には、本町通りを中心に形成された桐生新町伝建地区が都市計画決定されていることから、中心市街地としての都市機能の集積と歴史的な町並みの保全との両立を図るとしている。
- 都市計画マスタープランにおける目標の1つとして「歴史・文化資源を活かした魅力的なまちの形成」を掲げ、「拠点」「都市軸」などの構成要素を基本に歴史・文化資源を活かした魅力的なまちの形成を推進するとしている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度に伝建地区の町並みや地割を保存するため同地区内の都市計画道路(本町線・稲荷橋線の一部)を廃止し、伝建地区の通過交通の抑制を図りつつ円滑な交通網の構築を図るため幸橋線の現道拡幅整備を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新桐生駅における一連の事業が完了したことで、景観や利便性が向上したが、玄関口として今後周辺地域を含めた活性化やまちなかへの円滑な誘導に繋げていくため、今後関係部局や団体等と具体的な施策を検討していく。

状況を示す写真や資料等



令和4年度幸橋線整備：
電線共同溝、道路築造工

位置図

※新桐生駅前広場整備は令和3年度末に完了

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和5年度
景観計画による景観誘導等		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
桐生市景観計画における良好な景観の形成に関する方針では、地域の特徴や個性を生かした景観形成を図るため、市域全域を6つのゾーンに分け、ゾーンごとの景観形成誘導基準や色彩基準を設けている。重点区域にも含まれている「歴史景観」ゾーンでは、他ゾーンより厳しい色彩基準を設けるなど歴史的資源が周辺景観と調和が図られるように誘導し、より魅力的な景観の形成と保全を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成28年に制定した「桐生市景観計画」に基づき、市全体を景観計画区域とし、良好な景観形成のため規制誘導を実施した。対象となる規模の建築行為等について届出を課し、色彩基準や意匠等について助言を行い景観誘導を図った。
 本年度届出件数：14件(令和5年12月28日現在)のうち、重点区域内0件・歴史景観ゾーン内0件
 ・多くの方に景観を意識し、考えていただく機会とするため、令和5年11月17日に美喜仁桐生文化会館で景観講演会を開催した。講演会では、東京藝術大学准教授/アーツ前橋チーフキュレーターの宮本武典氏を講師に迎え、「現代美術のキュレーター、群馬でわくわくを企む～街とアートの接点を探して」とのテーマで講演をいただいた。より多くの方に見ていただけるよう講演内容は後日動画で配信した。また、関連イベントとして、講演会に関するパネル展を、市役所1階市民ロビー(令和5年10月17日～11月9日)と、講演会当日の美喜仁桐生文化会館で実施した。
 ・県内市町村の景観・まちづくり行政の写真や取り組みについて紹介する「ぐま景観・まちづくり展」に出展し、群馬県公式Youtubeチャンネル「tsunos」で桐生市の歴史的風致形成建造物や景観講演会等の動画を配信し、広く周知を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない
制度についての理解を深めることと魅力的な景観についての意識を高めることが、良好な景観形成につながっていくと思われる。今後も景観制度の周知と景観の意識を高める取組を検討していきたい。

状況を示す写真や資料等



景観講演会チラシ



景観講演会パネル



景観講演会の様子

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
伝統的建造物公開活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和8年度

支援事業名 観光拠点整備事業・伝統的建造物群基盤強化事業・群馬県文化財保存事業・市単独事業

計画に記載している内容 地域の歴史や伝統産業に関する資料展示等を行い、当地区の歴史的な価値について理解を深めるために、補助金を活用して桐生新町伝建地区にある伝統的建造物を取得し、活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○重伝建地区公開活用施設整備工事の実施
 令和4・5年度の2年かけて行う工事が完了した。
 ○重伝建地区公開活用施設修理委員会の開催
 2回開催し、整備工事の施工方法や公開活用施設の活用等について指導助言をいただいた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

地元住民に対しての施設の周知については、現場見学会の開催や、工事の状況等について伝建群だよりでお知らせを行っている。

状況を示す写真や資料等

- 重伝建地区公開活用施設整備工事の実施
 - 工期: 令和4年5月6日から令和6年2月28日まで
 - 場所: 桐生市本町一丁目7番4号
 - 2年目の主な工事内容:
 - ・左官工事、屋根瓦漆喰の仕上げ
 - ・木工事、建具の修理
 - ・設備工事
 - ・外構工事
- 重伝建地区公開活用施設修理委員会の開催
 【開催概要】
 - 第6回
 - ・開催日 令和5年9月29日(金)午後2時から
 - ・場 所 桐生市役所新館5階 501会議室
 - ・議 題 (1) 工事の進捗状況について
 (2) 前回の協議事項について
 (3) 報告事項
 (4) 今後の予定について
 - 第7回
 - ・開催日 令和6年3月26日(火)午前10時から
 - ・場 所 重伝建地区公開活用施設
 - ・議 題 (1) 工事の進捗状況について
 (2) 施設の活用方法・活用計画について



工事状況 外部



工事状況 内部



修理委員会の様子

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域の歴史的風致を形成しており、歴史的風致の維持及び向上のため、その保全を図る必要が認められる建造物を歴史的風致形成建造物として指定し、建造物の価値を高め、所有者の位置付けや観光資源としての活用を図る。また、歴史的風致形成建造物に指定した建造物の外観の保全に係る修理・修景に対して支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・計画記載の歴史的風致形成建造物候補物件の18件の内、下記2件の物件を指定し、桐生市長から所有者へ指定標識の授与を行った。なお、指定標識は、歴史的風致である桐生織の技術により、その指定建造物を背景に織り込んだ桐生織標識を採用した。

今年度は、2件の物件の所有者が同一人物かつ既に物件を活用されていたため、本市の歴史まちづくりに対する理解が深く、スムーズに指定に向けた同意を得ることができた。

○令和5年度指定物件(指定日:令和6年2月1日)

指定第15号 旧株式会社金芳織物工場事務所及び鋸屋根工場

指定第16号 旧金谷家住宅及び旧株式会社金芳織物工場染色場

○これまでの指定件数

計16件(平成30年度3件、令和元年度3件、令和2年度2件、令和3年度3件、令和4年度3件、令和5年度2件)

・歴史的風致形成建造物を紹介する動画を作成し、市の公式YouTubeチャンネル「桐生市チャンネル」で配信を行った。建造物を紹介する動画配信はこれまで歴史まちづくりに興味を持っていない層への周知や建物の保存と活用の機運醸成を図るための手段として令和2年度から行っており、令和4年度までは市職員が自作していたが令和5年度から動画作成業務を委託し、よりクオリティの高い動画を配信することができた。

配信にあたっては、市のSNSやふれあいメール、Facebookを活用し広く周知を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的風致形成建造物候補物件について、補助制度の施行が整っていない為、引き続き検討を行う。また、所有者の高齢化にともない候補物件の維持管理が困難になることが想定される。

状況を示す写真や資料等



指定第15号「旧株式会社金芳織物工場事務所及び鋸屋根工場」



令和5年度指定標識授与の様子
(令和6年2月1日 特別応接室)



指定第16号「旧金谷家住宅及び旧株式会社金芳織物工場染色場」



歴史的風致形成建造物紹介動画(サムネイル画像)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
伝統的建造物保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～令和8年度
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業・群馬県文化財保存事業・市単独事業

計画に記載している内容	桐生新町伝建地区の特定物件の保存修理を実施する事業者に対し、修理に掛かる経費に対し補助金を交付する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

2件の保存修理事業を行う予定であったが、工法等の決定までに時間を要したことにより、令和5年度中の完了が困難となったため、引き続き令和6年度においても実施する。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・保存修理事業(補助制度)の主旨について、事業者(建物所有者)の理解を深めることが必要なため、実施した修理についての情報共有等について検討していきたい。 ・保存修理を行う技術者の確保(養成)が必要なため、現場見学会等行いたい。

状況を示す写真や資料等

○保存修理事業の状況

【令和5年度実施 保存修理物件1】



修理前状況

【令和5年度実施 保存修理物件2】



修理前状況



工事状況

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
伝統的建築物保存技術継承支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和8年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物の保存・活用に向けて、伝統工法や技術を継承するための専門家を育成する団体等の支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重伝建地区公開活用施設整備工事の現場において、協同組合群馬県建築設計センター主催により現場研修会を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・伝統工法について関心を示す技術者が少なく、新たな研修参加者が見込めないため、現場見学会等で伝統工法を知ってもらう機会等をもうけていきたい。

状況を示す写真や資料等

- 開催日 令和5年9月5日(火)午後1時30分～
- 場所 重伝建地区公開活用施設
- 主催 協同組合 群馬県建築設計センター
- 参加者 25名



研修会の様子

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
本町通り整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和6年度

支援事業名 防災・安全交付金(道路事業)

計画に記載している内容 桐生新町伝建地区内の本町通りを、歴史的な町並みとの調和を図るために、電線類地中化と歩道整備を行い、舗装等の美装化を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 電線共同溝本体管路及び特殊部の敷設 令和4年度完了
- 防犯灯の新設 令和5年度完了
- 交差点照明 5基 令和5年度完了、信号移設 3交差点 令和5年度内に完了予定(2交差点完了)
- 道路改良 側溝敷設 令和5年12月完了、車道仮舗装 令和6年2月完了予定
- 連携及び引込管路敷設 NTT令和5年度内に完了、東電令和6年度上期に完了予定
- 電線切替(予定) 電線入構令和6年7月、切替作業令和6年7月～10月、電線撤去令和6年11月、電柱抜柱令和6年12月)
- 舗装工事(車道舗装 発注済、歩道舗装 今後発注)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない 完成時期を令和6年12月に修正

状況を示す写真や資料等



4月 電線共同溝工事



設置された防犯灯



6月 側溝整備工事



仮舗装後の本町通りの様子

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
桐生新町伝建地区及び周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成31年度～令和8年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)・市単独事業

計画に記載している内容 周辺景観に配慮した市道の美装化や歩道整備とともに、地域の魅力を満喫できるように周辺環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市内随一の来訪者数を誇る桐生が岡公園と近接する重伝建地区の回遊性を向上させるため、社会資本整備総合交付金等を活用し桐生が岡公園周辺整備を行っており、今年度は、昨年度から引続き実施している山手横断歩道橋の美装化工事が完了し、桐生が岡公園と重伝建地区をつなぐ市道の美装化及び広場整備等の工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市道の美装化工事の実施に伴い、群馬県事業である本町通り整備事業と調整を行ったが、施工時期の調整が難しく、施工範囲を調整し市道の整備を先行して実施することとなった。

状況を示す写真や資料等

山手横断歩道橋美装化工事



工事前

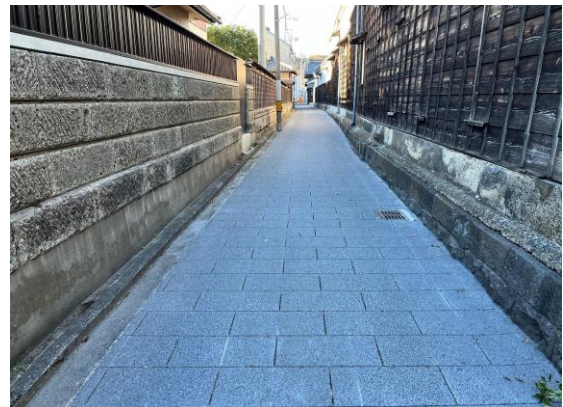


完成後

道路美装化工事



工事前



完成後

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
	現在の状況	
景観阻害物調査改善事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和8年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 桐生市景観計画を策定し、群馬県から屋外広告物条例を移譲されたことから、景観を阻害している建築物や屋外広告物の改善に向けて現状調査し、実態を把握したうえで指導や相談を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・毎年度、改善路線を定め、対象路線及び市内主要交差点などに設置されている基準に適合しないものや未手続の違反広告物を表示する広告業者・広告主・土地所有者に対して改善要請を行い、景観を阻害する屋外広告物の改善に努めた。令和5年度改善路線は、県道68号桐生伊勢崎線沿いと県道67号桐生岩舟線沿い(国道122号 相生町一丁目交差点～新宿二丁目交差点までの区間)の違反屋外広告物の改善要請を行った。
 【指導件数:40件(令和5年12月31日現在)】
 ・違反広告物把握のため定期的なパトロールの実施や、違反簡易広告物の除却活動を行い良好な景観の保全に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成29年度から屋外広告物条例に基づく指導を行っているが、まだ周知されていないと感じる。指導対象者に改善をお願いしやすくされるためにも、屋外広告物条例の周知が課題である。周知が進めば、違反広告物は減り、景観の向上へ繋がるため、景観講演会や改善指導を通じ周知に努める。

状況を示す写真や資料等

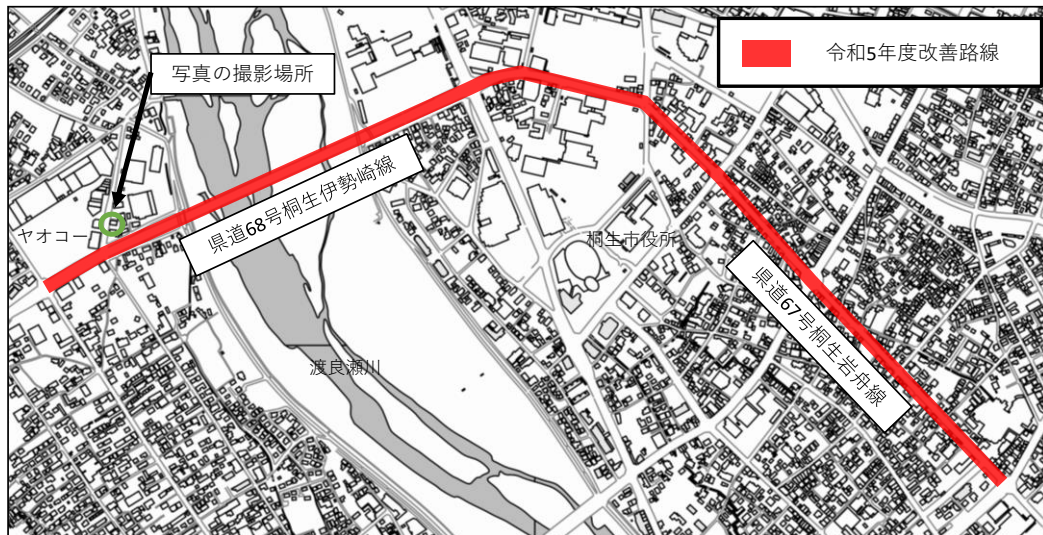


指導前



指導後

・許可基準に違反している広告物を撤去した。(残っているものも移設予定)



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
伝統産業周知啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 織物にゆかりの深い建物を活用して織物産業関連資料を展示し、織物に関する歴史や技法の理解を深める機会を創出する。また、伝統産業における各工程や技法を、ホームページや動画等、各メディアを活用しながら、情報発信を行うとともに、見学や体験イベントなどを通して、周知啓発を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

織物を中心とした郷土資料展示を桐生織物記念館において継続実施し、企画展示を3回実施したほか、イベント「織物記念館の日」を開催し、桐生織の歴史や技術の変遷を広く周知することができた。市のホームページには、引き続き桐生織物の製造工程の詳細や動画を継続掲載した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

来場者のニーズを把握し、現代に合った効果的な展示方法を積極的に取り入れていくため、アンケート実施者に記念品を配布することにより、アンケート回収率が向上した。アンケート結果を参考に改善した。

状況を示す写真や資料等



織物資料室企画展「ゆかた帯・ゆかた展」



織物資料室企画展「トシテックス&Tex・Box展」



桐生織物記念館の日



アンケート

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
伝統産業保護育成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和39年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市の伝統産業である繊維産業は、生活様式の変化等による需要の変化への対応や技術の継承が課題になっているため、新商品の開発や新たな販路の開拓により、経営体質強化を図る。また、桐生織物に携わる職人の高齢化や新規就労者も少ないことから、伝統技術の継承や後継者を育成する環境を整えることで、伝統産業の保護・育成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

桐生織物の新製品開発や宣伝、展示発表等各事業に係る経費に対して桐生織物協同組合や桐生刺繍商工業協同組合に対し補助を行った。補助金名称: 需要開拓事業補助金(桐生織物新製品開発)(桐生織物宣伝)(国内婦人服地新製品開発)(刺繍展)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	夏物と比較すると受注量の少ない秋冬関連の需要を高めるため、上半期の展示会を増やした。年間通じて安定した生産ができる受注の確保が課題である。

状況を示す写真や資料等



桐生織物織姫展 (6月東京展)



桐生テキスタイルコレクション (10月東京)

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
地場産業振興事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	昭和62年度～令和8年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 繊維産業などの地場産業の振興・育成・発展を目的に公益財団法人桐生地域地場産業振興センターに対する経営経費の補助とともに、商品開発、情報収集提供事業補助、人材育成等支援事業補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

運営費の補助を行うと共に、桐生産地における繊維産業の展示事業(桐生テキスタイルプロモーションショー)や情報収集提供(専門家を招いたトレンドセミナー)、後継者育成を目的とした繊維大学など各事業に対して補助を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	既存の取引先や新規企業との商談等のため展示商談会を開催した。繊維業界は高齢化・人材不足のため若手従事者の人材育成が必要であり、国内消費の低迷や海外製品と渡り合うためには情報収集や産地桐生のPRが課題である。

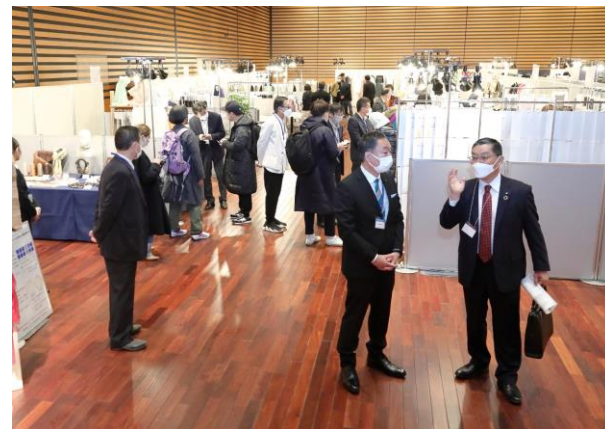
状況を示す写真や資料等



桐生繊維大学



トレンドセミナー



桐生テキスタイルプロモーション

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
織物体験事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 「桐生織 伝統工芸士」及び桐生織物協同組合事務局職員が学校へ出向き、学年単位で織物の仕組みや織物製品、伝統工芸品の特性、技法、原材料についての講話を行う。また、じどう一人一人が実際に織機を使い、その仕組みを学びながら、織物製品を手織りで製作する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

(市内全小学校の3年生または4年生に対し、桐生織物の歴史や絹織物の仕組みの学習と手織り体験を実施した。講師は、桐生織を知り尽くした桐生織伝統工芸士が担当した。各学校に手織り用の織機を搬入して手織り体験を行い、また各学級でDVDを視聴後、機結びの実習をした。実際に製品や織機に触れて学んだ。市内17校 約600名)
(市内の中学校特別支援学級に所属する生徒が工房「風花」に集まり、1年に4回、回転整形式手織機「フラミンゴ」を使用し、手織り体験を行い、一人1作品のタペストリーなどを制作した。(生徒のべ約60名)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

桐生織伝統工芸士の参加調整が時期によっては厳しい。伝統工芸士の参加できる日と学校の予定を調整し、日程を決定していく。

状況を示す写真や資料等



手織り体験の様子

学級での機結び体験

<学校からのアンケートより>

- ・手織機を身近で、細かく見られたことは、学習に役立った。
- ・手織実習後の質問の時間もあり、児童の疑問にすぐ答えていただいたことで、子どもたちの意欲につながった。
- ・「カイコの飼育」や「織物」の学習をしてきたが、実際に織る体験をすることで、より興味や関心が高まった。
- ・実際に手織で織る体験をしたことで、もっと織物体験をしたいと思う児童が多かった。
- ・桐生市の伝統文化に触れられた貴重な体験ができたことを児童は実感していた。
- ・「桐生は日本の機どころ」と上毛カルタの読み札や挿絵にあるように、「職都桐生」を実感したとともに、機織りの歴史の重さを感じる事ができた。
- ・伝統工芸士の方々の丁寧な指導により、興味をもって楽しく機織り体験をすることができた。体験し始めてまもなくは、シャトル、緯糸、ペダルの操作に時間がかかる児童も見られたが複数回緯糸を通す活動を通して、スムーズに扱えるように成長した。ペダルの踏み方によって、機織りの模様が変化することに気づき、驚いていた。箴をたおす強さによって、緯糸の密度が変わり、布の様子が変わることにも気づく児童も見られた。
- ・質疑応答では、機織りにかかる時間、一番大変な仕事内容、桐生にはどれくらい織物の伝統工芸士がいるのかなど、機織りについて探求する質問が出た。体験後の感想として、「楽しい」「またやりたい」「伝統工芸士になりたい」など、将来の夢にまで影響するような充実した体験だったことを伝える言葉が聞かれた。参加児童の全員が生き生きと活躍する姿が見られ、担任としても充実した体験だったと感じた。
- ・手織り体験では、一人が体験する回数が増えるよう配慮していただき、繰り返し行うことで子どもたちなりにコツをつかんで上手にできるようになり、手織りの楽しさを感じる事ができたようです。同時に、手織りの難しさや大変さにも気付く事ができました。
- ・機結び体験では、太い紐を使用することで、児童にも結びやすかったです。早くできた児童は、友達に教えたり、紐をほどいて何度も結び直したりして意欲的に取り組む事ができました。また、DVDを視聴し、桐生織の歴史や伝統を感じる事ができました。

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
祇園屋台・鉾伝承活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成26年度～令和8年度
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容
江戸文化を色濃く残した桐生祇園祭において、本町各町会で所有している祇園屋台と鉾の損傷している部分を修理したうえで、文化財指定や通常展示を含めた公開方法について検討する。また、桐生祇園祭の次世代の後継者を育成するために、子供たちを対象としたお囃子の講習会や桐生祇園祭の歴史・風習を学ぶ講座を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度実績なし

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・祇園屋台の組み上げ及び修理ができる技術者の育成

状況を示す写真や資料等

令和5年度実績なし

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財伝承支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 市指定の文化財に限り、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら老朽化により保存や更新が難しくなっている祭礼・行事で使用する用具等の更新支援や修理のための情報提供を行う。また、資金不足や後継者不足により、記録化が図られていない祭礼・行事について、調査・研究を進めて記録化の支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度は、無形民俗文化財に係る用具等の更新や修理などについての相談はなかったが、今後、相談等の申し出があれば、修理方法や補助等の支援も含め情報を提供していく。
 指定・登録に該当するような文化財があれば、事前に調査を実施し、記録保存も行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 今後も、用具の更新及び修理方法等の情報提供や、祭礼・行事の記録保存について引き続き実施していく。

状況を示す写真や資料等



白瀧神社太々神楽



賀茂神社太々神楽



桐生和紙生産技術

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史まちづくり推進啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市の歴史文化遺産や歴史まちづくりに関連するシンポジウム・講演会・バスツアー等を開催する。また、歴史的風致維持向上支援法人の設立を視野に、歴史まちづくりに関連する事業について、本市との適正な役割分担のもとで事業を推進できるまちづくり団体等の設立を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市固有の歴史や文化に対する理解を深め、歴史まちづくりを推進していくため、歴史まちづくり講演会を以下の通り実施した。今年度、第1回講演会では四年ぶりに制限なく開催された「桐生祇園祭」を題材に講演会を行った。講演会を祇園祭開催前に設定し、講演会を聞いた人が実際に祇園祭に足を運び講演会の内容をフィードバックできるように工夫をした。2回目の講演会は国登録有形文化財にも指定されている「彦部家住宅」を題材に講演会を行った。会場も彦部家住宅をお借りし、講演会終了後、屋敷内を見学し、歴史を耳で聞くだけでなく目で見て楽しみ理解をさらに深めてもらえるような工夫を施した。

①テーマ:「桐生祇園祭の屋台と鉦の見どころ」

開催日: 令和5年6月20日

会場: 桐生鉦座

講師: 郷土史家 奈良 彰一 氏

参加人数: 64名(申込者数53名)

②テーマ:「地域に根付く文化財-彦部家住宅-」

開催日: 令和5年11月22日

会場: 彦部家住宅

講師: 彦部家当主 彦部 篤夫 氏

参加者人数: 21名(申込者数12名)

・講演会に参加できなかった人や市の取り組み等を広く周知するため、今年度開催した桐生市歴史まちづくり講演会の様子を、市のYouTubeチャンネルで配信した。配信にあたっては、外部事業者への委託を行わず、市職員が所有するビデオカメラを使用し撮影する等、配信までの作業をすべて職員で行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

若者世代の参加を増やすことが検討課題である。若者にも興味を持ってもらえるように周知方法を検討するほか、歴史まちづくりに興味のある世代が、若者世代を連れて来られるような講演会にできないか検討を続ける。

状況を示す写真や資料等



第1回 歴史まちづくり講演会の様子



第2回 歴史まちづくり講演会の様子



講演会の動画配信(サムネイル)

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
桐生を好きな子供を育てる事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成13年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 「桐生を好きな子供」を育てる事業における歴史や文化遺産の体験事業により、地域住民との交流等を通して桐生の歴史や伝統文化に直接触れる様々な体験を行い、郷土愛を育成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・桐生に愛着と誇りを持ち、将来にわたって桐生で活躍できる子どもの育成に重点を置いた様々な取り組みを、各学校や幼稚園をはじめ全庁的に実践し、それらを報告書にまとめた。その中で、桐生の歴史や文化に関連する事業41件を実施した。
 ・子どもが地域の中で心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後等に安全に安心して活動する拠点を設け、各地域の特色や人材を生かした体験・交流活動、学習等を行う「放課後子供教室」において、昔遊び等を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

公民館や放課後子供教室などの活動内容について、桐生の歴史文化に関連したプログラムを検討する。

状況を示す写真や資料等



図書館 桐生に伝わる民話を聞こう



放課後子供教室 ジャンボカルタに挑戦



彦部家住宅 タケノコ掘り
(未来創生塾)



放課後子供教室 昔遊び

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物調査活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成31年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域固有の歴史的資源である歴史的建造物の保存活用のため現地調査と活用に向けた相談体制の構築を図る。また、空き家空き地バンクにおける情報提供の充実と相談体制の構築を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・空き家・空き地バンクに掲載する物件の提供や空き家物件の購入に関する相談は合わせて約230件、空き家・空き地バンク成約件数は30件程度の見込みである。空き家・空き地バンクホームページのリニューアルや、実際に内覧しているような情報が得られるよう動画による紹介を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・引き続き、所有者と意見交換を行うなど連携を図りながら、相談体制の構築に向けた検討を進めていく。 ・バンク物件に掲載することにより不特定の人が購入するというイメージが、古民家所有者の不安となり該当地区の物件は増えていない。古民家を保存し活用をすることへの住民理解や物件の情報収集などが必要と考える。

状況を示す写真や資料等



桐生市空き家・空き地バンクホームページ



空き家・空き地バンク動画(サムネイル)

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財保存活用地域計画等策定事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域に存在する文化財を総合的に把握し、その保存及び活用に関する基本的な方針を定める「文化財保存活用地域計画」策定に向けた調査を行う。また、現在の市史は、編さんされてから50年以上が経過していることから、新たな市史の編さんに向けた検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市史編さんについては、市史の編集方針や内容を議論する桐生市史編集委員会を4回、また編さん事業の進捗状況を報告する桐生市史編さん審議会を1回、講演会を1回開催した。史資料の収集及び調査が本格化し、特に貴重な史資料については、デジタルカメラ撮影やスキャニングによるデジタルデータの作成を行った。また、前回の『桐生市史』や『桐生織物史』、『新里村誌』『山田郡誌』『勢多郡誌』の各自治体史のデジタル版(全11冊)を作成した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

前回の『桐生市史』ほか、既刊の自治体史に採録された史資料の所在確認から着手したが、すでに処分されていたり、状態の劣化が深刻なものもあった。今後は広報などを通じて、史資料の保管や情報の提供などを呼び掛けたい。

状況を示す写真や資料等



第8回 桐生市史編集委員会の様子



第4回 桐生市史編さん審議会の様子



中世部会の調査で作成したデジタル化資料

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
歴史文化資料公開事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市の歴史文化に関する資料の収集、保全を進めるとともに、希少な郷土資料やゆかりのある人物などに関する資料を公開し活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・桐生市立図書館所蔵の絵図面や古典籍のデジタルデータを作成し、その一部を群馬県立図書館HPの地域資料デジタルコレクションサイト上で公開した。また、図書館所蔵の古文書を紹介するデジタル版古文書講座「むかしの桐生にふれてみよう」を、桐生市立図書館HP上で公開している。
 ・郷土資料管理事業では、桐生新町を代表する商家であった長沢家に伝えられた文書を調査し、目録を作成・刊行した。
 ・絹襷記念館では、本市の歴史文化に係る資料展示のほか、企画展として「前原悠一郎生誕150年記念 前原悠一郎と日本絹襷と桐生」展や「桐生の元気の原因」展、「路線バスの旅in桐生」展を実施した。
 ・桐生歴史文化資料館への運営費補助金を支出した。
 ・「近代化遺産の日」記念事業として、桐生明治館をはじめとした市内近代化遺産33施設の一斉公開を実施した。公開事業の一環として、国登録有形文化財「旧赤城山鋼索鉄道赤城山頂駅駅舎及びプラットホーム」にて、「桐生市の鉄道遺産」写真パネル展を実施した。

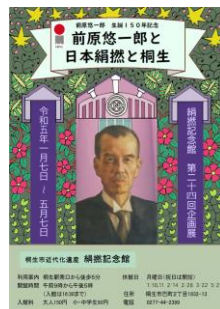
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

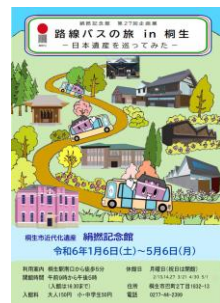
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・子どもから大人まで幅広い年齢層を対象として、文化財の公開や文化財を紹介するイベント(企画展など)を検討し、今後も実施していく。
 ・常設展や企画展など歴史文化に関する資料の公開については、文化財の活用を踏まえて工夫をしながら引き続き実施していきたい。

状況を示す写真や資料等



「白瀧神縁起(紙本)」 デジタル版古文書講座
 桐生に織物の技術を伝えた「むかしの桐生にふれてみよう」
 と言われる白瀧姫の御神影を描いたもの。



「近代化遺産全国一斉公開2023in桐生」 「桐生市の鉄道遺産」写真パネル
 ポスター 展

絹襷記念館 企画展のチラシ



国登録有形文化財「群馬大学工学部同窓記念会館」 「桐生市の鉄道遺産」写真パネル展

評価軸③-19
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
文化財案内標識整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和40年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業、ぐんま絹遺産保存活用総合支援事業補助金

計画に記載している内容 市指定文化財のうち、建造物や史跡などの看板設置が可能な物件について、その歴史的価値を解説した説明板を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要文化財塔婆(山上多重塔)、県指定天然記念物野の大クスノキ、県指定史跡中塚古墳並びに県指定重要文化財崇禅寺木彫阿弥陀如来像、県指定天然記念物崇禅寺のイトヒバ、市指定重要文化財東禅寺角塔及び市指定重要文化財千手寺石幢の文化財導入板の修繕を実施

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 優先順位を考慮しながら進めていきたい。

状況を示す写真や資料等



塔婆(山上多重塔) 導入板修繕



野の大クスノキ 導入板修繕



中塚古墳 導入板修繕



崇禅寺木彫阿弥陀如来像、崇禅寺のイトヒバ、東禅寺角塔、千手寺石幢 導入板修繕

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
観光案内等情報提供事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業・地方創生推進交付金

計画に記載している内容 桐生新町伝建地区等に訪れた観光客が歴史や文化を学びながら観光活動を楽しむ環境を整えていくために、行政、観光関係者、民間事業者、NPO法人、地域の住民などが連携して観光情報等を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・まちなか観光の拠点としている桐生市観光情報センター「シルクル桐生」において、各種観光情報の発信や観光案内のほか、(一社)桐生市観光物産協会へ事業を委託し、多様なパンフレット等を活用しながら観光情報発信と物産販売を実施した。
 ・観光ガイドの問い合わせについては、(一社)桐生市観光物産協会が運営する“織都桐生”案内人の会を紹介し、重伝建地区などを巡るツアー等の対応を行った。
 ・桐生新町伝建地区をはじめとする文化観光を通じた経済活性化を学ぶ桐生観光大学(講演会)を、以下のとおり開催した。
 開催日: 令和5年12月4日 会場: 美喜仁桐生文化会館
 ・低速電動コミュニティバス「MAYU」の新ルート「七福神巡りコース」の新設や、「MAYU」を利用するイベントの開催で、話題性による誘客と、桐生新町伝建地区の周知を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	シルクル桐生の認知度が高まり、今後も問い合わせが増えていくことが想定されるなかで、引続き観光案内における情報収集やスキルアップが必要である。

状況を示す写真や資料等



「案内人の会」観光ガイドの様子



桐生市観光情報センター「シルクル桐生」



MAYU



桐生観光大学

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

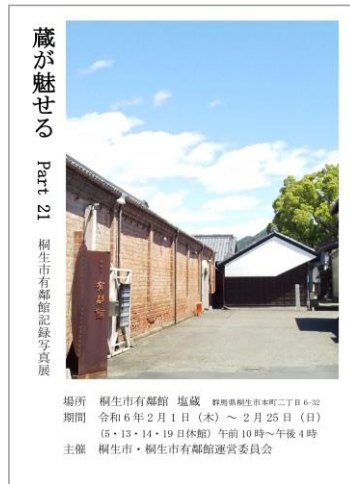
項目	評価対象年度	令和5年度
文化財の保存又は活用の現況について		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 適正な保存を図るため、本市では全ての指定等された文化財を対象に現状確認調査及び所有者・管理者への聞き取りを実施し、群馬県においては指定・登録文化財、重要な埋蔵文化財包蔵地に対して群馬県文化財保護指導委員による「文化財パトロール」を実施している。今後は、これまで実施してきた保存・管理に係る事業を継続するとともに、保存活用計画及び「文化財保存活用地域計画」の策定を進め、適正な保存活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 ・有料観覧施設である絹拵記念館では、桐生の歴史・文化に係る資料のほか、企画展なども開催している。また、有鄰館では、絵画・写真などの作品展や文化活動の発表の場とするなど、さまざまな催しを開催し適切に活用している。
 ・国、県及び市の指定文化財の現状及び管理状況調査を実施したほか、所有者・管理者に管理状況等の指導・確認を行った。
 ・群馬県文化財保護指導委員による文化財のパトロール報告の指摘物件については、所有者・管理者あてに改善を依頼。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・文化財に対し多くの方が親しみを持ってもらえるような企画展やイベントなどを検討し、今後も実施していく。 ・文化財の保存・活用について安全な公開方法等の対策を引き続き検討する。

状況を示す写真や資料等



有鄰館開催イベントチラシ



新里のサクラソウ群落 現状確認調



桐生明治館の魅力発見展 展示写真

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の修理に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 保存修理工事など保存に伴う経費については、指定・登録文化財とともにそれぞれの補助金交付要綱に基づく支援措置を図り、目的や状況によっては、地域活性化や観光振興の補助事業を活用することにより保護を図る。また、重点区域内の建造物については、文化財保護法令における指定や登録のほか、景観法による景観重要建造物、景観重要樹木の指定や歴史的風致形成建造物の指定による景観の保全等、その保護を図る。重伝建地区においては、これまで実施してきた伝統的建造物保存修理、防災対策事業等による文化財の維持管理とともに本町通り整備事業などによる地区内の景観形成を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市指定重要文化財の浄運寺本堂について、屋根の葺き替え工事及び耐震壁の導入工事に対して、所有者への指導・助言を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・指定及び登録文化財の現状把握や修理に伴う指導等を行うとともに、各種補助金の活用についても検討していく。

状況を示す写真や資料等



浄運寺本堂 屋根葺き替え・耐震壁導入工事

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の防災に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 所有者に対しては防災意識の向上を図るため訪問時に防災の呼びかけを行っている。毎年「文化財防火デー」にあわせて、文化財建造物や指定文化財を保管している建造物を対象に桐生市消防本部や消防団と連携して文化財消防訓練を実施し、近隣の住民にも参加を呼びかけ、啓発を強化している。また、桐生明治館や桐生市有鄰館、彦部家住宅においては公開施設であるため独自に消防訓練を実施、桐生新町伝建地区においては「桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区防災計画」を策定し、地域住民参加による防災避難訓練を行っており、今後も継続して進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・伝建地区では、火災発生の早期発見、早期通報を図るべく地区内の建物に設置した、無線式連動型住宅用火災警報器の作動試験を実施(予定)。また、地区住民の災害に対する認識など防災意識の向上のため防災イベントを実施。
 ・毎年、「文化財防火デー」に合わせて文化財防火訓練を実施しており、令和5年度は「崇禪寺」で実施した。
 ・重要文化財である彦部家住宅については、防火対策として消防ポンプ、火災報知設備、避雷設備等の各種点検を行い、初期消火等訓練を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	伝建地区では、地区住民の高齢化が進んでおり、災害時の対応など地域の体制を強化することが課題となっている。 防災訓練の実施方法等を検討し、毎年訓練を行う。

状況を示す写真や資料等

●令和5年度重伝建地区防災イベント
 【開催概要】
 ・開催日 令和6年3月3日(日)10時から
 ・場所 桐生消防署東分署
 ・内容 無線式連動型住宅用火災警報器の説明
 AED(自動体外式除細動器)講習会
 消火器訓練
 桐生消防署東分署施設見学



崇禪寺 防火訓練



彦部家住宅 防火訓練

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の普及・啓発に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 文化財の保護に関する正しい理解と意識向上を図るため、文化財の公開に努め、各種事業の実施、情報の発信を積極的に行う。「近代化遺産一斉公開」やスタンプラリーの開催、「文化財めぐり」、所管施設の無料公開といった子どもから大人まで幅広い世代が文化財に触れる機会を創出する。講座事業としては「立正大学デリバリーカレッジ」や「出前講座」を開催し、文化財の知識と歴史的背景を伝える事業を継続して実施する。さらに、出前講座や歴史まちづくり講演会などの講座事業とともに、見学会など各種イベント事業を開催することにより、文化財について幅広い知識を得ることのできるように取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・毎年10月20日の「近代化遺産の日」に合わせ、ノコギリ屋根工場をはじめとする市内近代化遺産33ヶ所を公開し、買物や食事、染織体験等を通して、文化財施設の普及・啓発を行った。
 ・桐生明治館では、「桐生明治館開館記念日」「県民の日」「文化財保護強調週間」等に入館料を無料とすることで、多くの市民に親しんでもらう機会を作り、期間中の入館者は609人であった。また、喫茶室でのBGM生演奏等の取組みにより、前年と比較して喫茶室利用者が増加した。
 ・桐生高校での「桐生学」出前講座にて、市内の文化財を紹介し、市民への啓発を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

子どもから大人まで幅広い年齢層を対象として、文化財の公開や文化財を紹介するイベントなどを検討し、今後も実施していく。

状況を示す写真や資料等

近代化遺産の日記念事業「近代化遺産全国一斉公開 2023 in 桐生」 桐生明治館他の33施設を紹介



カイバテラス



明治館BGM生演奏の様子

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
ベテランと若手が一緒に 賀茂神社で太々神楽奉納	令和5年4月20日	桐生タイムス
GWは有鄰館まつりへGO！！	令和5年4月20日	桐生タイムス
芸大生が“発見”した織都の記憶 旧曾我織物工場で展覧会	令和5年5月6日	桐生タイムス
初の重伝建コーディネーター委嘱	令和5年6月2日	桐生タイムス
桐生市歴史まちづくり講演会 祇園祭の見どころ紹介	令和5年6月21日	桐生タイムス
桐生の日本遺産の魅力知ろう 2種類のスタンプラリー開催	令和5年7月18日	桐生タイムス
夏を彩る桐生の浴衣 来月8日まで織物記念館で企画展	令和5年7月20日	桐生タイムス
ノコギリ屋根の下、BBQを 旧森芳工場を再生、保存活用へ	令和5年8月12日	桐生タイムス
桐生天満宮 国重文に正式指定	令和5年9月26日	桐生タイムス
笛の音に子どもら舞う 前田原獅子舞4年ぶりに復活	令和5年10月2日	桐生タイムス
「伝統ある街・桐生」描いた絵画展示 絹燃記念館	令和5年11月1日	桐生タイムス
104年の歴史に触れる 桐生倶楽部会館で見学会	令和5年11月2日	桐生タイムス
彦部家当主自ら歴史紹介「地域に根付く文化財」語る	令和5年12月1日	桐生タイムス
あなたの知らない!?桐生天満宮ツアー	令和5年12月11日	桐生タイムス
年明けのまち、市にぎわう 紗綾市、骨董市、我楽多市	令和6年1月10日	桐生タイムス
歴史的風致形成建造物「レンガ」を指定	令和6年2月2日	桐生タイムス
「旧真尾邸」7月開館へ	令和6年2月14日	桐生タイムス
黒保根・湧丸獅子舞保存会と意見交換「ささら舞」継続に前進	令和6年3月15日	桐生タイムス

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

コロナ禍を経て「桐生祇園祭」や「桐生あびす講」が制限なく通常通り開催され、これまでの賑わいが戻りつつある。桐生天満宮が国登録有形文化財に指定されたことを受け、市の歴史的風致への関心が高まってきている。担い手不足で存続が危ぶまれる伝統行事についても担い手の条件(性別・年齢制限)を緩和するなど工夫をしている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史まちづくりに関する取り組み等に関する情報を引き続き収集するとともに、市民が歴史まちづくりに興味を持っていただけるよう積極的な情報発信を行っていく。

状況を示す写真や資料等



令和5年6月21日
桐生タイムス



令和5年9月26日
桐生タイムス



令和5年12月1日
桐生タイムス



令和6年2月14日
桐生タイムス

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目

市民団体等との連携について

計画に記載している内容 文化財の保存活用に関わり、地域住民が主体となって組織されている各団体との連携強化や官民協議による保存活用を図るとしている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

“織都桐生”案内人の会は、桐生の観光ガイド組織として発足し、50名を超える会員で組織され、桐生新町伝建地区を中心に、お客様の要望に沿った案内を行っている。主な連携した取り組みとしては、講演会とセットにした散策ツアー(令和元年)や歴史的風致を巡る散策ツアー(令和2年)を市との共催事業として実施している。その他、会としての取り組みとして、オンラインによる桐生散策が楽しめるよう、令和3年度から桐生市観光物産協会のYouTubeチャンネルでの動画配信、自主企画ツアー等を行っている。また、令和5年に桐生天満宮が国の重要文化財に指定されたことに伴い、特別公開付きの天満宮散策ツアーを開催した。桐生商工会議所との連携では、市内の各所をめぐるバスツアーを令和5年10月29日に開催し、一般参加30人・事務局6人、計36人参加した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

“織都桐生”案内人の会との更なる連携強化を図りたいところだが、案内人の高齢化及び実働人数が少なくなってきたことが本組織の課題であり、継続的に連携を図っていくためにも、新規の案内人募集活動について、市で出来る限りの動きを模索し、実現させていく。バスツアーについては参加申込者が定員を大きく上回り、申込受付期間中にも関わらず参加できない人が多くいた。今後はより多くの方が参加できるように工夫する。

状況を示す写真や資料等



バスツアー当日の様子(桐生天満宮を見学中)

わがまち風景賞バスツアー2023



桐生の歴史や文化を感じる名所と「わがまち風景賞」を受賞した物件を巡る。バスツアーを実施します。

桐生天満宮が令和5年、国重要文化財に指定される運びとなりました。寛政2(1789)年建立の本殿は、二十四等、唐子遊びをはじめとした彫刻や彩色などの装飾で埋め尽くされていて、それが遠近から大きく影響しています。

今回のわがまち風景賞バスツアーはこの彫刻を彫った開口文油即到に焦点を当て、彼の故郷である黒保根町上田沢に残る彫刻群を見学したあと、令和5年の「わがまち風景賞」受賞物件を巡ります。

この事業は、ファッションタウン桐生推進協議会まちづくり委員会と桐生市の共催事業です。

期日=10月29日(日)
時間=午前8時30分~午後4時30分(予定)
集合場所=市役所駐車場
見学場所=黒保根町(沢入観音堂、医光寺、常盤寺)、旧須藤邸、須藤、桐生天満宮(予定)
募集人数=30人(先着順)
費用=2,000円程度(昼食代・見学料・保険料など)※当日現金します
申し込み=10月2日(月)午前9時から電話で桐生商工会議所(☎45-1201)へ。
問い合わせ=桐生商工会議所(☎45-1201)、都市計画課歴まち・街路係(☎内線745)

令和5年度わがまち風景賞バスツアー参加者募集案内

「案内人の会」令和5年度自主企画ツアーの様子とチラシ

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 桐生市歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時: 令和6年2月5日(月)13時30分～15時	
<p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物調査活用事業について、空き家空き地バンク歴史的建造物と何の関係があるのか。ホームページに載っている物件は普通の中古物件に見えるが、なぜここに記載されているのか。歴史的建造物とは何かという定義のようなものをきちんと線引きした方が良い。 ・内容が良く書けているものと物足りないものとの差が大きい。事業を実施した結果、どうなったのか、どのような成果が見られどのような課題が見つかったのかを具体的に書いてほしい。実績だけが機械的に書いてあるのでは作成する意味がない。 ・標記が統一されておらず読みづらい部分がある。担当課から上がってきたものを精査し表記の統一を図っていただきたい。 ・織物体験事業について、学校からのアンケート結果も記載されておりとても良い。子供たちがどのような姿勢で体験を行ったのか、どのような経験ができたのか伝わってくる。 ・多彩な事業を行っており、係として大変な作業だと思いますが、つねに各事業の有機的なつながりを大切に推進していただきたいと思います。 ・昨年9月の桐生天満宮の「国指定」昇格は市のまちづくりにとって喜ばしい出来事だったと思います。この天満宮の素晴らしさ、価値を多くの市民や観光客に知ってもらうために、本事業でも講演会やシンポジウム、見学会を積極的に行う必要があると思います。29ページの「案内人の会」のツアーは好例だと思います。 	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載内容にばらつきがないよう見本となるような記載例を作成し各課へ周知を行うとともに、取りまとめ後の評価シートについても精査をしっかりと行い標記の統一に努める。 ・空き家空き地バンクは歴史的な物件に特化したものではなく、一般的な空き地・空き家の活用も含まれているため、表示されている画像についても一般的な中古物件が表示されてしまっている部分があるので、空き家対策室と調整して古民家や歴史的建造物の活用について検討したい。 	